

電波時計 取扱説明書  
(掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元 リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<https://www.rhythm.co.jp>

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の(使用上の注意)を必ずお読みください。

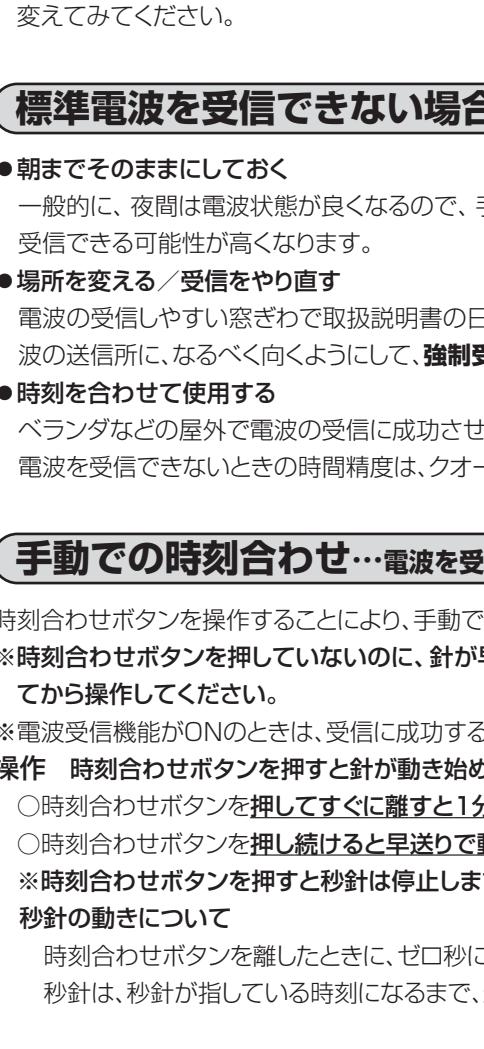
電池は付属しておりません。単3形乾電池を2個ご用意ください。

## 各部の名称と役割

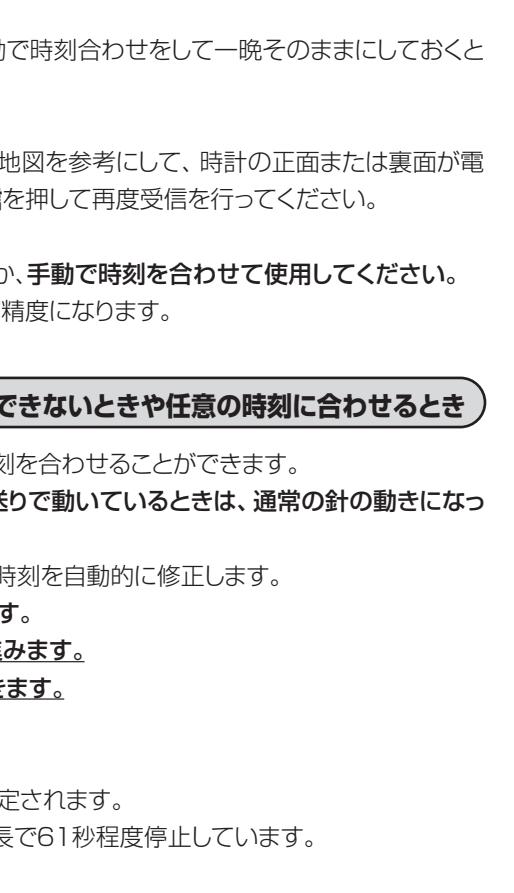
○図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

商品により、受信表示ランプや明暗センサーの配置、電池の向きが異なりますが、機能や操作手順は同じです。

(正面)

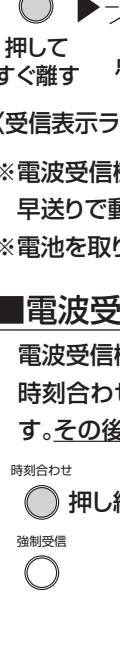


【受信表示ランプ・明暗センサーの配置図】

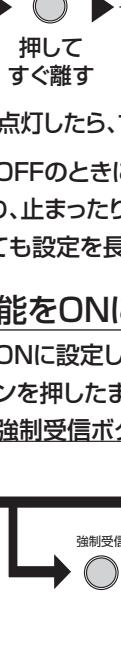


## (電池の入れ方)①

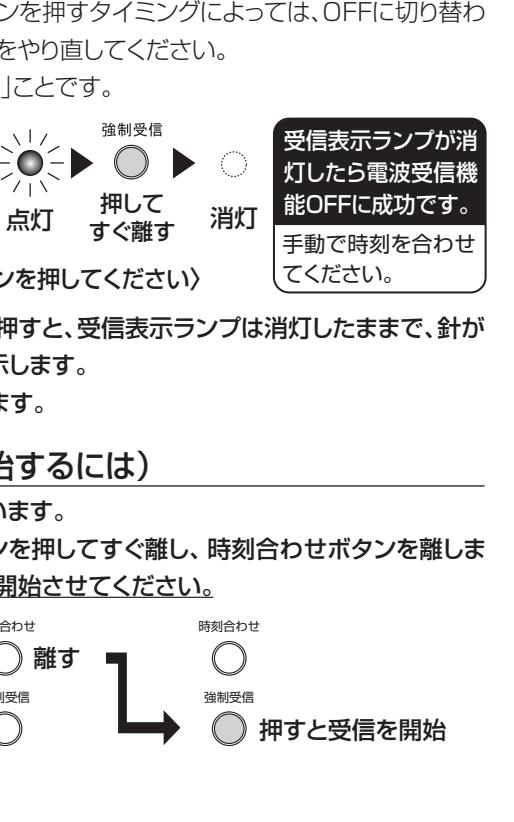
電池たて型



電池よこ型



時計裏面の電池ボルトを外し、電池ホルダーの印を表示に合わせて単3形乾電池を2個入れ、電池ボルトを取り付けます。



△注意 電池の中の印を指示と逆向きに入れる、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

## 使用方法 電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

① 電池ホルダーの印を表示に合わせて電池を入れる

〈電池の入れ方〉を参照して電池を正しく入れてください。

② 強制受信ボタンを押す (標準電波・受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照

受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針は早送りで、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に移動して、受信が終わるまで停止します。

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ 時計を掛ける

〈時計の掛けかた〉に従い、時計を確実に掛けてください。

④ 受信開始から16分程度経過したら受信結果を確認する

受信表示ランプが2秒に1回点滅しているれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探すか、(標準電波を受信できない場合)を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

## 明暗センサーのはたらき 暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判断した場合は、受信表示ランプが消灯し、秒針が12時位置に停止します。

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

明るくなつて秒針が動き出すまでに最長で1分程度かかる場合があります。

## 標準電波ー受信の流れとサーチ機能の使いかた

(1) (2) (3) (4) (5) (6)

受信局を表示 電波の状態を表示 受信結果の確認

強制受信ボタンを押す → 時計の針が動き始めます。

4回点滅 福島局 ○点灯 良好 ○受信できる可能性大

40kHz → 6回点滅 九州局 ○消灯 受信できない ○受信成功

60kHz → ○点灯 消灯を繰り返す ○場所を移す

電波が不安定、失敗の可能性大

○消灯 受信失敗

受信は最長で約16分間行います

受信終了

## 電波サーチ機能の使いかた 受信しやすい所を探すには

○窓際やベランダで(5)まで行く、受信表示ランプが点灯していることを確認します。

受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。

○時計を設置したい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。

消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

## 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓や廊下で取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向こうにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使う

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。

電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

## 手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせると

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになつてから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

操作 時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。

※時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されます。

秒針は、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

## 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクオーツ精度になります。

## ■電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときは、操作をやり直してください。

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」とことです。

強制受信ボタンを押す → 時計の針が動き始めます。

4回点滅 福島局 ○点灯 良好 ○受信できる可能性大

40kHz → 6回点滅 九州局 ○消灯 受信できない ○受信成功

60kHz → ○点灯 消灯を繰り返す ○場所を移す

電波が不安定、失敗の可能性大

○消灯 受信失敗

受信表示ランプが消灯したとき、電波受信機能がONになります。

受信表示ランプが点灯したとき、電波受信機能がOFFになります。

受信表示ランプが点滅したとき、電波受信機能がON/OFF交替になります。

受信表示ランプが点滅したとき、電波受信機能がOFFになります。

受信表示ランプが点滅したとき、電波受信機能がONになります。

受信表示ランプが点滅したとき、電波受信機能がOFFになります。

受信表示ランプが点滅したとき、電波受信機能がON/OFF交替になります。

受信表示ランプが点滅したとき、電波受信機能がOFFになります。

受信表示ランプが点滅したとき、電波受信機能がONになります。

受信表示ランプが